

実践 EBLM—検査値を活かす

“検査値を活かす”とは、検査値を単なる数字(あるいは画像)ではなく、情報の階層へ高めること、すなわち、診療に有用な知識に磨きあげることです。検査値を情報にし、さらに、さまざまな情報と組み合わせると、その価値は飛躍的に増します。検査値の活かし方次第では、まだ知り得ぬ画期的な診断作法の開発にもつながります。個々の検査値のもつ可能性はまさに無限と言えますが、どのように扱えば、情報としての価値を付与できるのかは難しいところです。

一方、患者さんは、単に値が高いか低いだけでなく、検査値を付加価値に富んだ情報へと高めてもらい、それに基づいて系統的な医療を受けたいと願っています。言葉やその意味を知らなくとも、EBM や EBLM を求めているのです。

本特集では、EBLM を実践していくうえで必要なノウハウを、本領域のエキスパートの先生方に手ほどきいただきました。より磨きのかかった検査情報を提供するために、ぜひ熟読していただきたく存じます。(山内 一由)